

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-25 発達支援事業 □支援部門		
主管課	発達支援室	関連課	こどもみらい課・保育課・こども相談課・市民健康課・教育指導課
分野名	健康福祉		
目標 (目標値)	ライフステージに応じて、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにする。		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考	
	人口	177,895人	177,224人	177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯		
	事業の対象者数	12,711人	10,020人	9,457人		
事業の対価	37,105	56,941	57,764			
運営資源状況	(国・県)	3,933	3,092	3,891		
	(負担金等)	67				
	(一般財源)	33,105	53,849	53,873		
	人員配置数	9.9人	9.3人	10.3人		
	人件費(千円)	75,946	73,763	87,921		
	協働のパートナー	(NPO)新しい子育てを考える会 (社福)ほしづきの里	鎌倉市障害児等放課後・余暇支援の会 (社福)ほしづきの里	鎌倉市障害児等放課後・余暇支援の会 (社福)ほしづきの里		
	総事業費(千円)	113,051	130,704	145,685		合計12,711人 新規相談、母子グループ、巡回 相談、保育所等訪問支援、発達 支援指導、小児神経科相談、特 別支援保育運営費補助金交付 人数、障害児放課後・余暇支援 事業利用、発達支援ネット受理 数、講演会参加人数、5歳児すこ やか相談数、通所支援調整会議 人数、障害児相談支援数
市民1人当りの経費(円)	635	738	822			
対象者1人当りの経費(円)	8,894	13,044	15,405			

ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	小田原市			
	新規相談	292	248	358	320	90			
	巡回相談	381	244	465	417	36			
	特別支援保育運営費補助金	35	34	69	57	-			

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
			相談・支援 延人数	目標値			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	◎	実績値	4,495人	4,713人	5,149人	5,725人	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止					
発達支援事業	30,697	発達支援事業	40,130	今後の方向性	A	理由・手法	市内に居住する発達障害を含む特別な支援を必要とする児童とその家族が、地域で安心して生活できることをめざすため、ライフステージに応じた一貫した継続的な支援を行っていく。		
特別支援保育助成事業	6,408			今後の方向性		理由・手法			

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	1 5歳児すこやか相談事業の周知については、まだ不十分であり、今後広く園や市民に周知を図っていく必要がある。 2 保育所等訪問支援については、対象となっている子どもの家利用児のニーズへの対応と、実際の利用状況を踏まえた上で実施方法の検証が必要である。 3 障害児放課後余暇支援事業については、平成25年度の法内事業(放課後等デイサービス)への移行による利用のニーズの増大により、利用者の希望に応じきれない状況がある。サービス利用のニーズに応じられる体制整備が課題である。 4 特別支援保育運営費補助金については、交付対象児の登園日数や該当要件の変更が生じた場合の手続きについて検討が必要である。										
課題解決のための取組	1 5歳児すこやか相談全数実施の結果を踏まえ、市外園在籍児童や在宅児童への周知方法について、検討を行った。 2 対象である子どもの家利用児へのサービス提供に向けて、保護者のニーズを基に青少年課及びこどもの家スタッフと実施方法について検討を行った。 3 法内事業への移行によって利用のニーズの増大により、利用者の希望に応じきれない状況がある。サービス利用のニーズに応じられるようにするため、3か所目の施設の設置を検討した。 4 補助金交付対象児の登園日数や該当要件の変更が生じた場合の手続きについて書類を整備し要綱を改正した。						取組の結果	■解決 □未解決			
未解決の課題	1 市外園在籍児童や在宅児童への周知及び実際の相談方法について、さらなる検討が必要である。 2 実際の利用状況を踏まえながら、対象である子どもの家利用児の潜在的ニーズの検証をしていく必要がある。 3 法内事業への移行によって利用のニーズの増大により、利用者の希望に応じきれない状況がある。サービス利用のニーズに応じられるようにするため、3か所目の施設の設置が必要。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	1 5歳児すこやか相談事業の周知を、さまざまな機会を活用して今後も広く園や市民に周知を図っていく必要がある。 2 実際の利用状況、実施結果に基づいて対象範囲見直しの可否について検討する。在籍している園、こどもの家等身近な地域で受けられる支援の充実につなげる。 3 法内事業への移行によって利用のニーズの増大により、利用者の希望に応じきれない状況がある。サービス利用のニーズに応じられるようにするため、鎌倉地域に3か所目の施設の設置を目指していく。 4 特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に、継続して補助金を交付する。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A		※□事業完了		

評価者名

発達支援室長

安田 明

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施する。 ・障害児放課後・余暇支援事業を放課後等デイサービスを行う団体に委託する。 ・障害児放課後・余暇支援事業及び放課後等デイサービスを行う「障害児活動支援センター」の運営を指定管理者に委託する。				○	○	○	○
発達支援事業 主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	1060・30	発達支援嘱託員報酬	26,805	25,975	○	○	○	○
	1060・30	嘱託医報酬	3,164	3,164	○	○	○	○
	30	発達支援委員会委員報酬	248	238	○	○	○	○
	1060	講演会等講師謝礼	100	100	○	○	○	○
	1060	発達支援システム推進協議会委員謝礼	264	107	○	○	○	○
	30	発達支援委員会委員費用弁償	20	2	○	○	○	○
	1060・30	保育士等費用弁償	188	22	○	○	○	○
	1060・30	消耗品費	230	230	○	○	○	○
	30	燃料費	85	69	○	○	○	○
	30	車両修繕料	62	14	○	○	○	○
	30	医薬材料費	8	8	○	○	○	○
	30	電信料	66	37	○	○	○	○
	30	アップライトピアノ調律等手数料	15	14	○	○	○	○
30	普通傷害保険料	321	320	○	○	○	○	
1060	障害児放課後・余暇支援事業委託料	191	0	○	○	○	○	
30	オーディオメータ等賃借料	423	397	○	○	○	○	
※ <input type="checkbox"/> 事業完了								

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付する。				○	○	○	○
特別支援保育助成事業 主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	1218	特別支援保育運営費補助金	7,992	6,408	○	○	○	○
※ <input type="checkbox"/> 事業完了								

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/> 事業完了								

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/> 事業完了								